



ソフィアだより

ソフィアでは、子どもたちが社会の中で気持ちよく人と関わり、自分らしく成長していけるよう、「しつけの三原則」と「立腰教育」を日々の保育の中で大切にしています。

しつけの三原則

- ① 挨拶は自分から先にする ② 返事は「はい」とはっきり言う ③ はきものを揃える・椅子を入れる

これらは、特別な才能を伸ばすためのものではなく、**当たり前**のことを丁寧に積み重ねる習慣を育てるための学びです。自分から挨拶をすることは、相手を尊重する気持ちの表れであり、返事をはっきり伝えることは、自分の意思を示す力につながります。また、はきものを揃えたり椅子を入れたりすることは、身の回りを整える力と、次に使う人への思いやりを育てます。

同時に、ソフィアでは**立腰教育**にも取り組んでいます。立腰は、姿勢を整え、心と体をまっすぐに保つ習慣です。この教育哲学は、花巻東高校——大谷翔平選手の母校でも実践されていることで知られています。特別な才能だけではなく、「**当たり前**のことを**当たり前**にできる力」を育てることが、将来の大きな力につながるという考え方です。

立腰や生活習慣は、すぐに目に見える成果が出るものではありません。しかし、乳幼児期に身につけた「心と体を整える感覚」は、この先の人生を支える確かな土台になります。小さな習慣の積み重ねが、子どもたちの集中力・自己肯定感・学びの姿勢を育てていきます。

まずは、毎日の生活の中でできることから。挨拶は自分から先にする ご家庭でも、ぜひ今日から始めてみてください。園でも、子どもたちと一緒に丁寧に取り組んでいきたいと思えます。

ソフィア東生駒こども園 園長 中畑 直実

ちいさいことを かさねることが

とんでもないところへ行く

ただひとつの みち

イチロー

